

2020 年 3 月期決算説明会

2020 年 5 月 26 日

いすゞ自動車株式会社

説明内容

1. 全体総括
2. 事業状況
3. 2020年3月期 実績
4. 2021年3月期 業績見通し
5. 協業について
6. Q&Aセッション

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

1. 全体総括

- 事業活動の制約は長期化すると考えられるが、感染拡大防止の対策に積極的に取り組むとともに、『運ぶ』を支える企業として、お客様が必要とされる車両をお届けし、アフターサービスによって稼働を支えていくことで「関係者と従業員の安全」及び「社会的責任」の両立を果たす
- 各国の需要は今後落ち込みが本格化し厳しい時期が続くものの、物流は動いており今年度中のどこかで需要回復は始まると想定
- 今期は緊急事態体制で臨み、費用圧縮の徹底により利益を確保

全体総括 '20年3月期実績



- '20/3期は市場のスローダウン傾向が顕著になるなか踏み留まった
- 当期の新型コロナウイルス影響は軽微、本格的な影響は'20/4月以降に発生

グローバル販売台数(千台)		'20/3期	'19/3期	対前年比増減	
CV計	国内CV	81	83	▲ 2	▲ 2%
	海外CV	208	223	▲ 15	▲ 7%
		289	306	▲ 17	▲ 5%
LCV計	タイLCV	163	163	▲ 0	▲ 0%
	輸出LCV	148	179	▲ 31	▲ 17%
		311	342	▲ 31	▲ 9%
合計		600	648	▲ 48	▲ 7%

決算実績(億円)

売上高	20,799	21,492	▲ 693	▲ 3%
営業利益	1,406	1,768	▲ 362	▲ 20%
経常利益	1,509	1,890	▲ 381	▲ 20%
当期利益	812	1,134	▲ 322	▲ 28%
配当	38円	37円	+1円	

全体総括 '21年3月期見通し



- 先行き不透明であるが、前提を置き予測を出すことが重要と判断
- VOL減影響は甚大であるため、費用圧縮の緊急措置を織り込む

グローバル販売台数(千台)		'21/3期	'20/3期	対前年比増減	
CV計	国内CV	68	81	▲ 13	▲ 16%
	海外CV	167	208	▲ 41	▲ 20%
		235	289	▲ 54	▲ 19%
LCV計	タイLCV	108	163	▲ 55	▲ 33%
	輸出LCV	133	148	▲ 15	▲ 12%
		241	311	▲ 70	▲ 23%
合計		476	600	▲ 124	▲ 21%

決算見通し(億円)

売上高	17,000	20,799	▲ 3,799	▲ 18%
営業利益	500	1,406	▲ 906	▲ 64%

2. 事業状況

新型コロナウイルス影響及び対応



- 4月に工場稼働停止が発生するも、日本・タイは再開済み
- 国内は感染防止対応を継続し、ロスの最小化に努める
- 海外は政府指示及び販売/サプライチェーンの状況により再開を判断

地域	4月	現在
日本	藤沢工場稼働停止 (4月13日~17日)	安全対策を万全にして4月20日から再開
タイ	4月13日週から4週間 全工場停止	5月上旬から稼働を再開
海外 KD拠点	11拠点を工場停止	6拠点が停止中

'21年3月期見通しVOL前提



- 需要予測は現段階での各国市場の情報を総合し、需要回復が見られる時期を想定

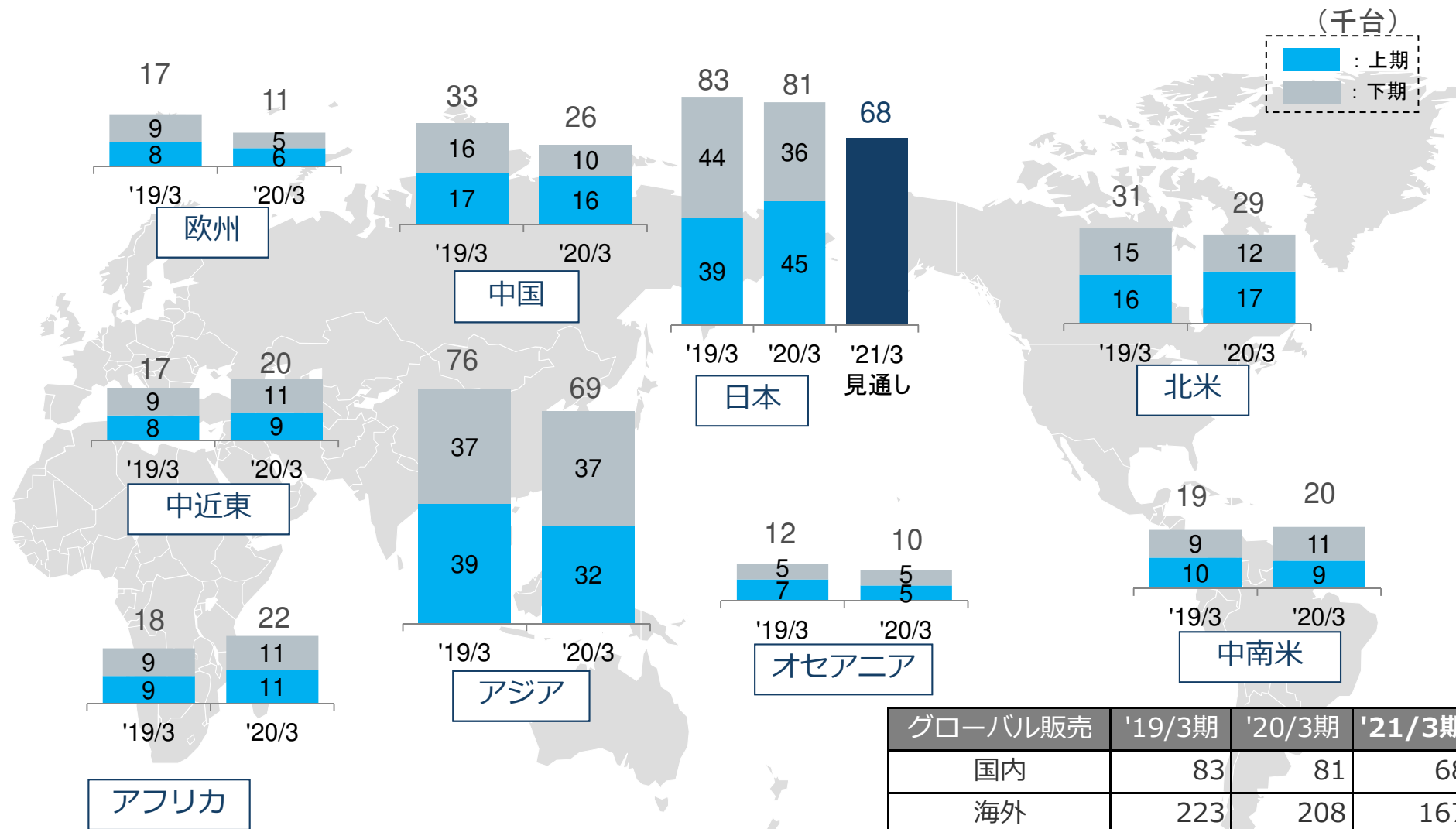
	VOL前提
国内CV	本格的な落ち込みは2Qに到来 (前年比：1Q 90%、2Q 60%、3Q 80%、4Q 90%)
海外CV	1Qが最悪期、2Q以降徐々に回復するも後半期は90%程度の水準に留まる
タイLCV	低迷は2Qまで続くものの、3Q以降回復し4Qには前年の水準に到達
輸出LCV	海外CVと同様の前提

※今後新型コロナウイルスの第二波発生により回復が大きく遅れる可能性あり

CVグローバル販売台数



- '20/3期：国内は小トラの全需減、海外はアジアの市場悪化を中心に減少
- '21/3期：国内は2Q以降の全需減を反映、海外の地域別VOLは非公表

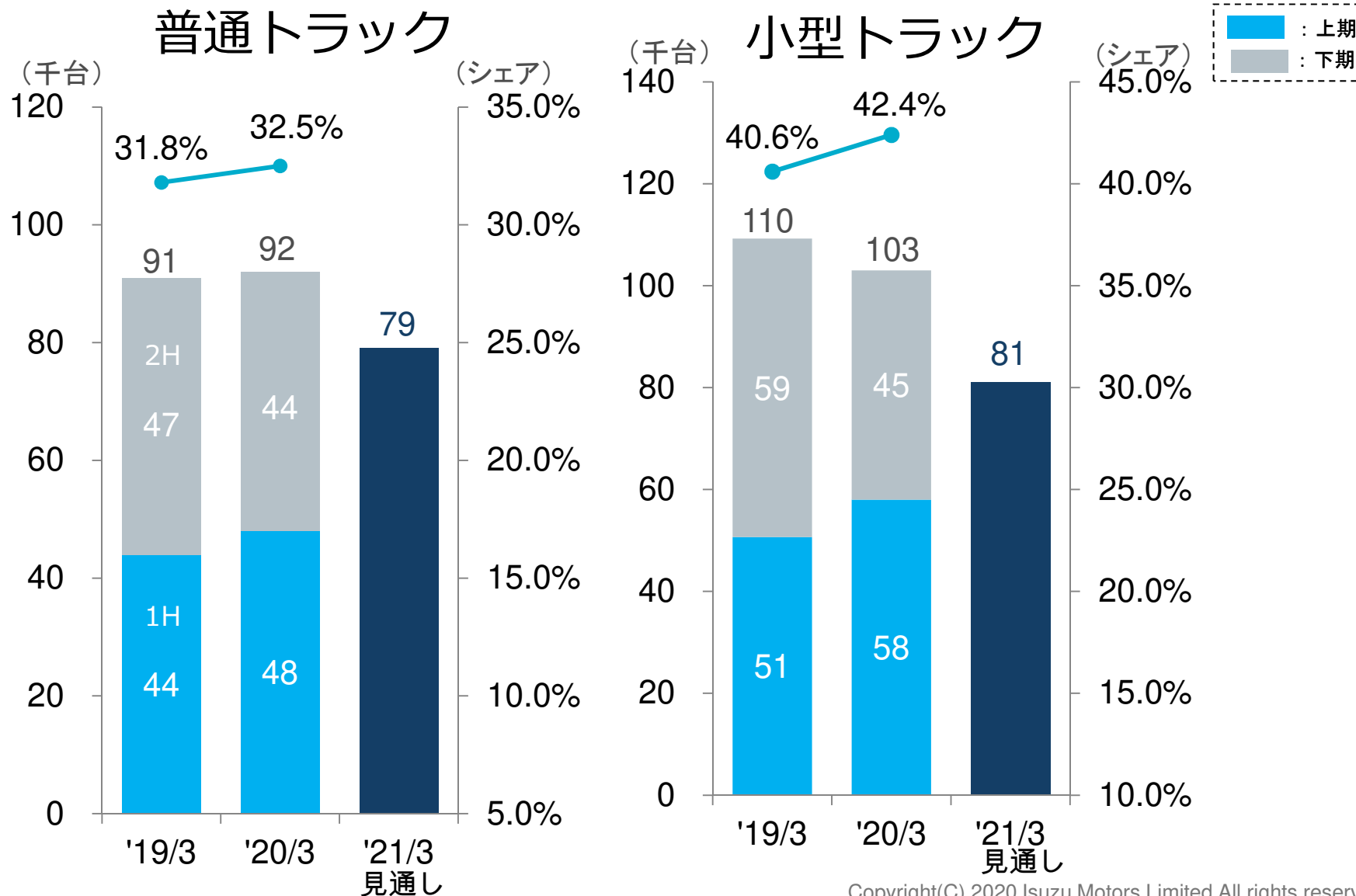


グローバル販売	'19/3期	'20/3期	'21/3期
国内	83	81	68
海外	223	208	167
CV計	306	289	235

*国内CV: 国内卸売・直納、海外CV: 北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

国内全需・シェア -普通トラック/小型トラック- ISUZU

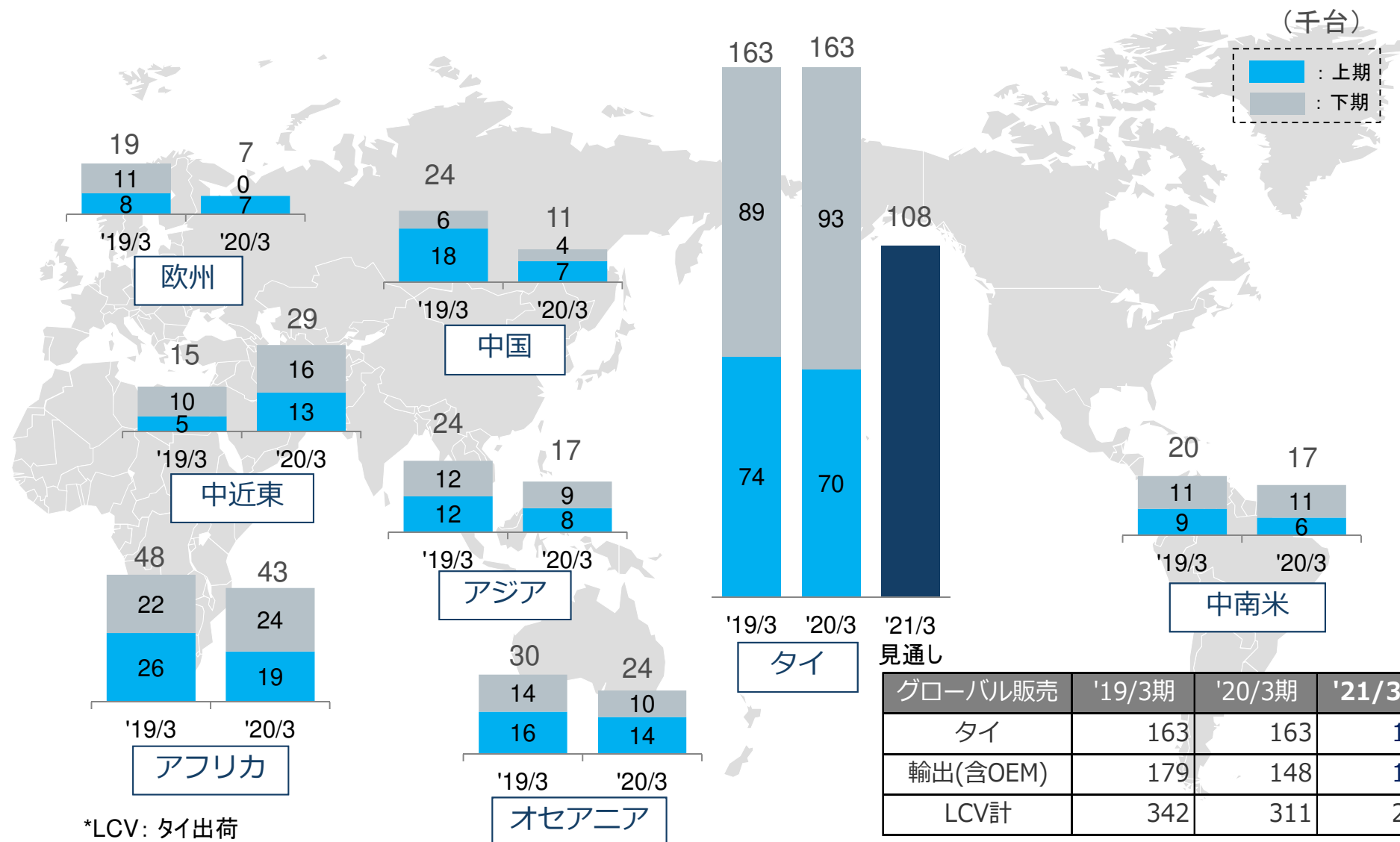
- 普トラ：全需は若干増加、安定した販売を行いシェア増加
- 小トラ：全需は減少するも、前半の駆け込み需要を取り込みシェア増加



LCVグローバル販売台数



- '20/3期：タイは前期並み、輸出はモデル切替及び市場悪化により大幅に減少
- '21/3期：タイは全需減に伴い減少、輸出の地域別VOLは非公表



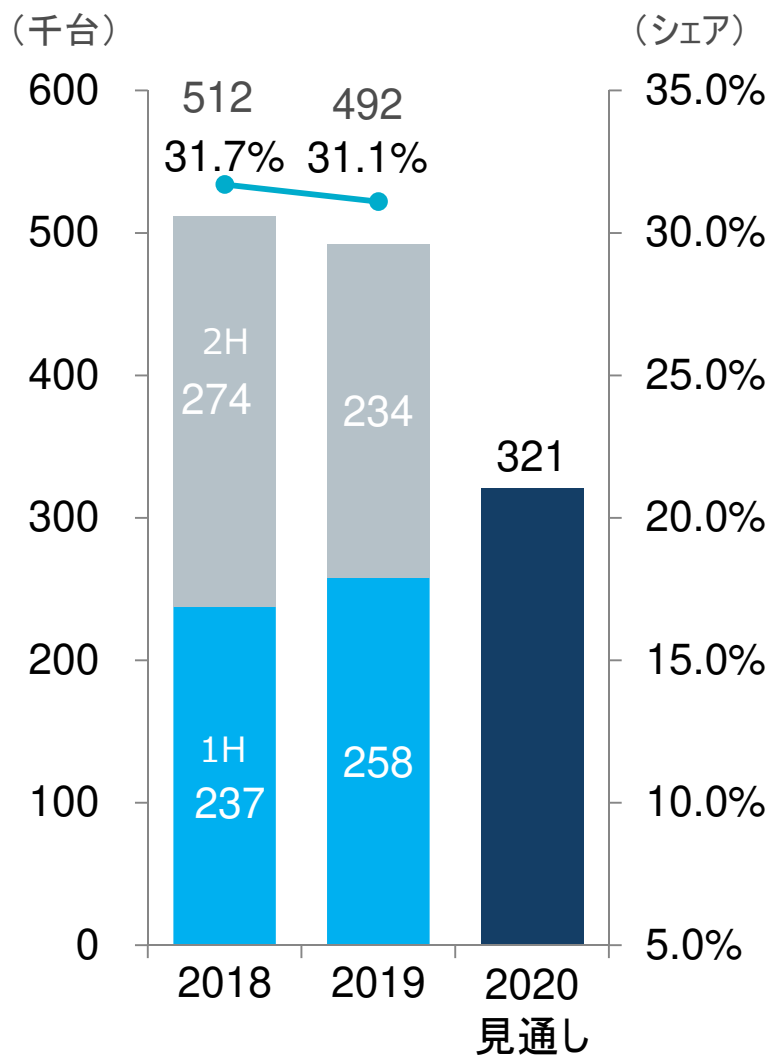
*LCV: タイ出荷

タイLCV全需・シェア/LCV生産台数

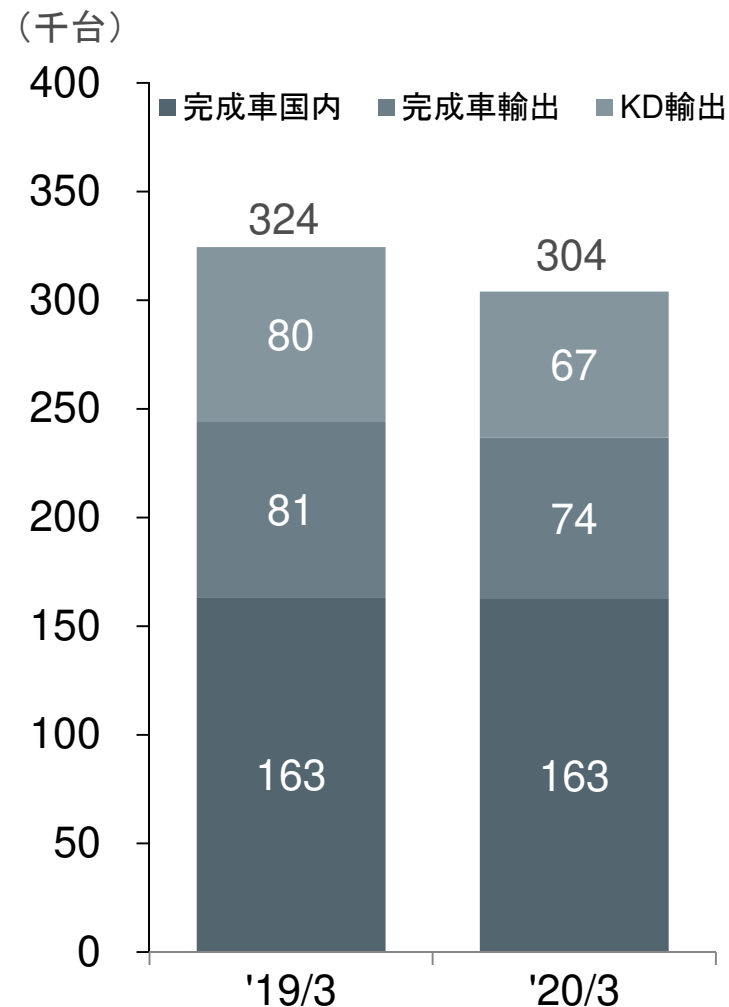


- 19年全需は減少、シェアは後半に新型PUPを投入し前年並みを維持
- 生産台数は輸出がモデル切替影響、市場悪化により減少

タイLCV全需/シェア(1-12月)



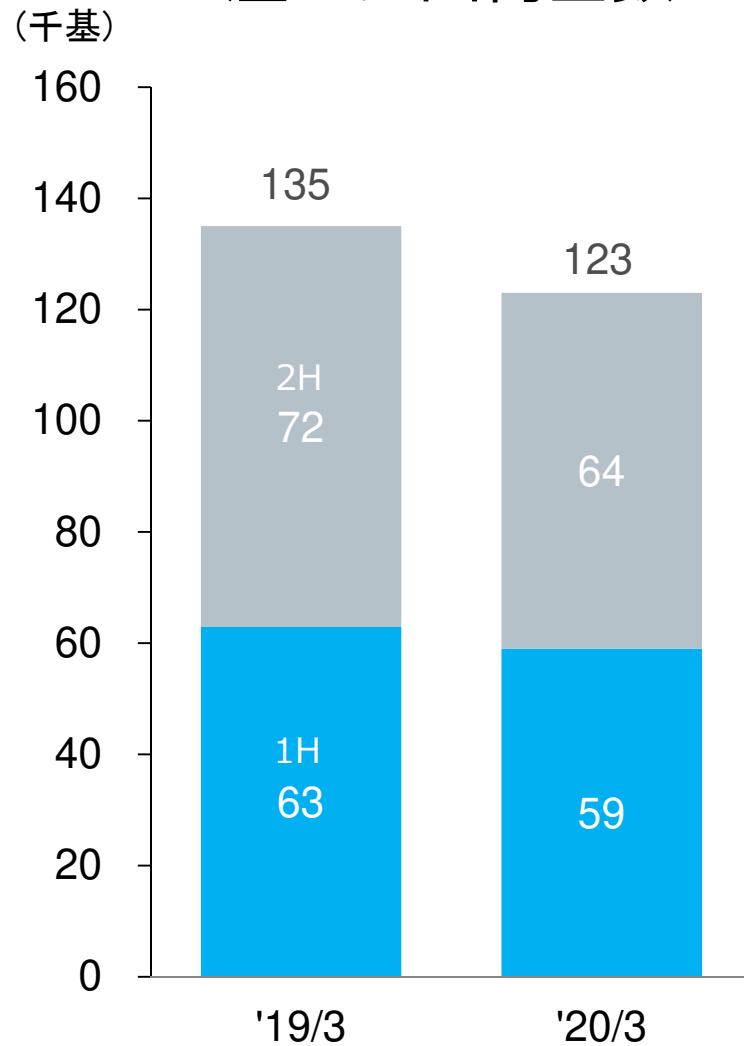
タイLCV生産台数



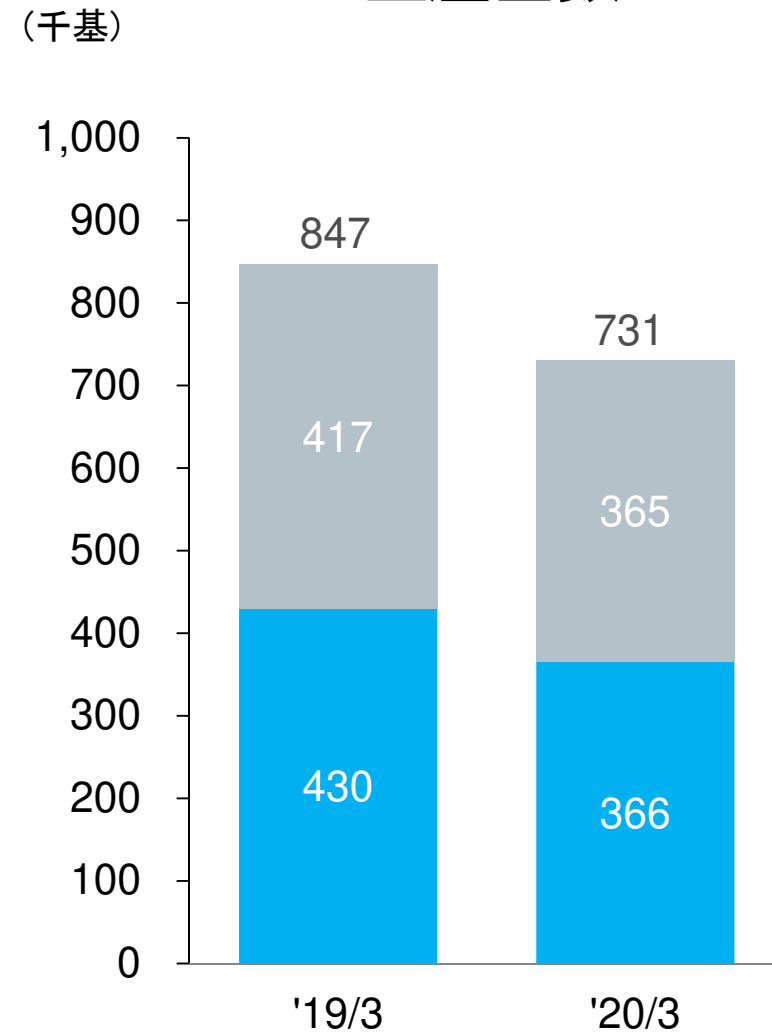
産業用エンジン出荷/ディーゼルエンジン(DE)生産 ISUZU

- 産エン：中国建機需要の不透明感を受け減少
- ディーゼルエンジン生産基数も車両、産エンVOL減により減少

産エン出荷基数



DE生産基数



3. 2020年3月期 実績

'20年3月期決算実績 - 前年同期比 -



(億円)	'20/3期	'19/3期	対前年比増減	
売上高	20,799	21,492	▲693	▲3%
営業利益	1,406	1,768	▲362	▲20%
経常利益	1,509	1,890	▲381	▲20%
当期利益*	812	1,134	▲322	▲28%

為替実績

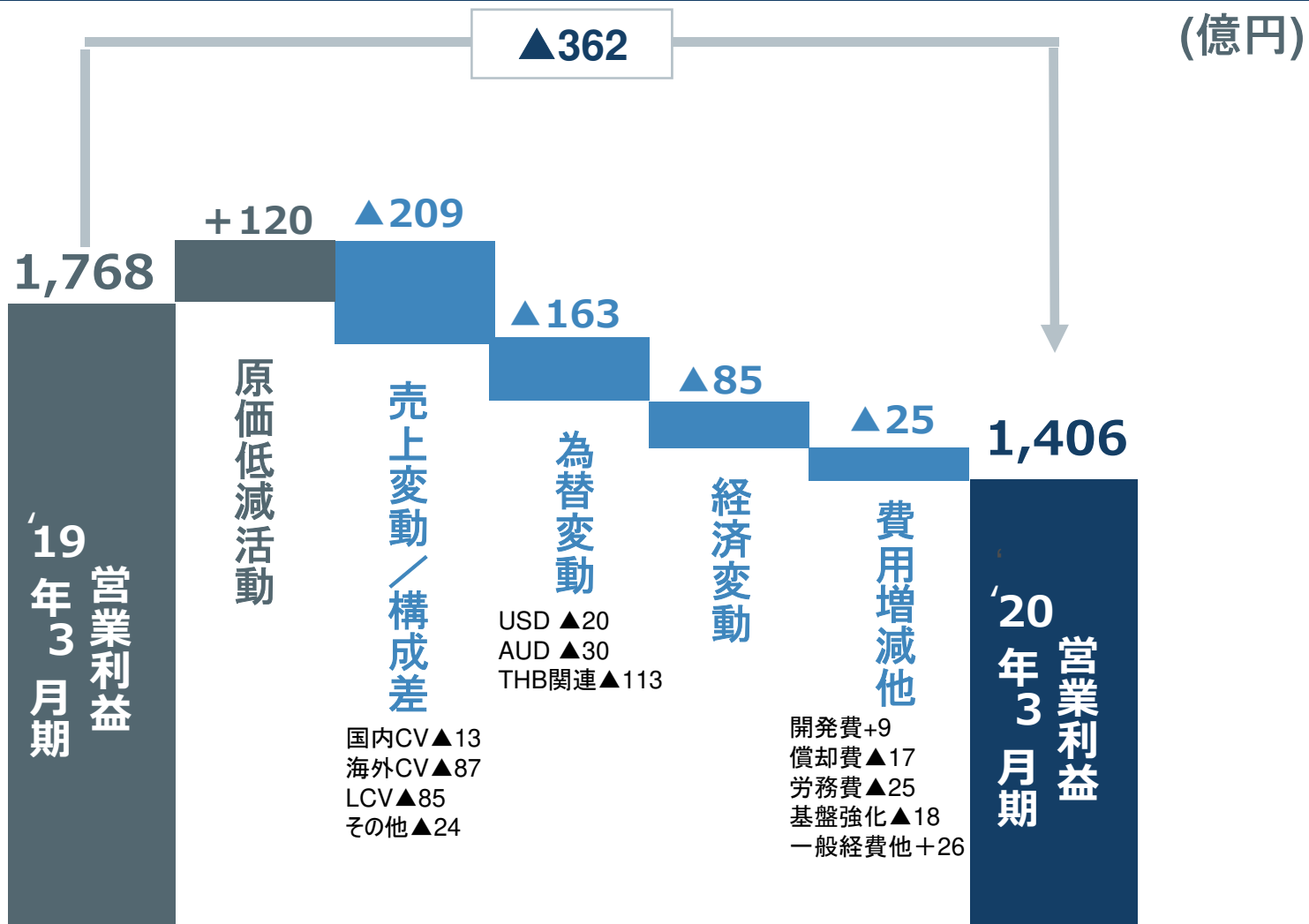
*親会社株主に帰属する当期純利益

USD/JPY	109円	111円
THB/JPY	3.51円	3.43円
AUD/JPY	74円	81円

'20年3月期営業利益実績 増減分析 -前年同期比-



- 国内全需減、海外市場悪化に伴うVOL減少に加え、為替変動により減益



4. 2021年3月期業績見通し

'21年3月期決算見通し - 前年同期比 -



(億円)	'21/3期	'20/3期	対前年比増減	
			増減額	増減率
売上高	17,000	20,799	▲3,799	▲18%
営業利益	500	1,406	▲906	▲64%
経常利益	未定	1,509	-	-
当期利益*		812	-	-

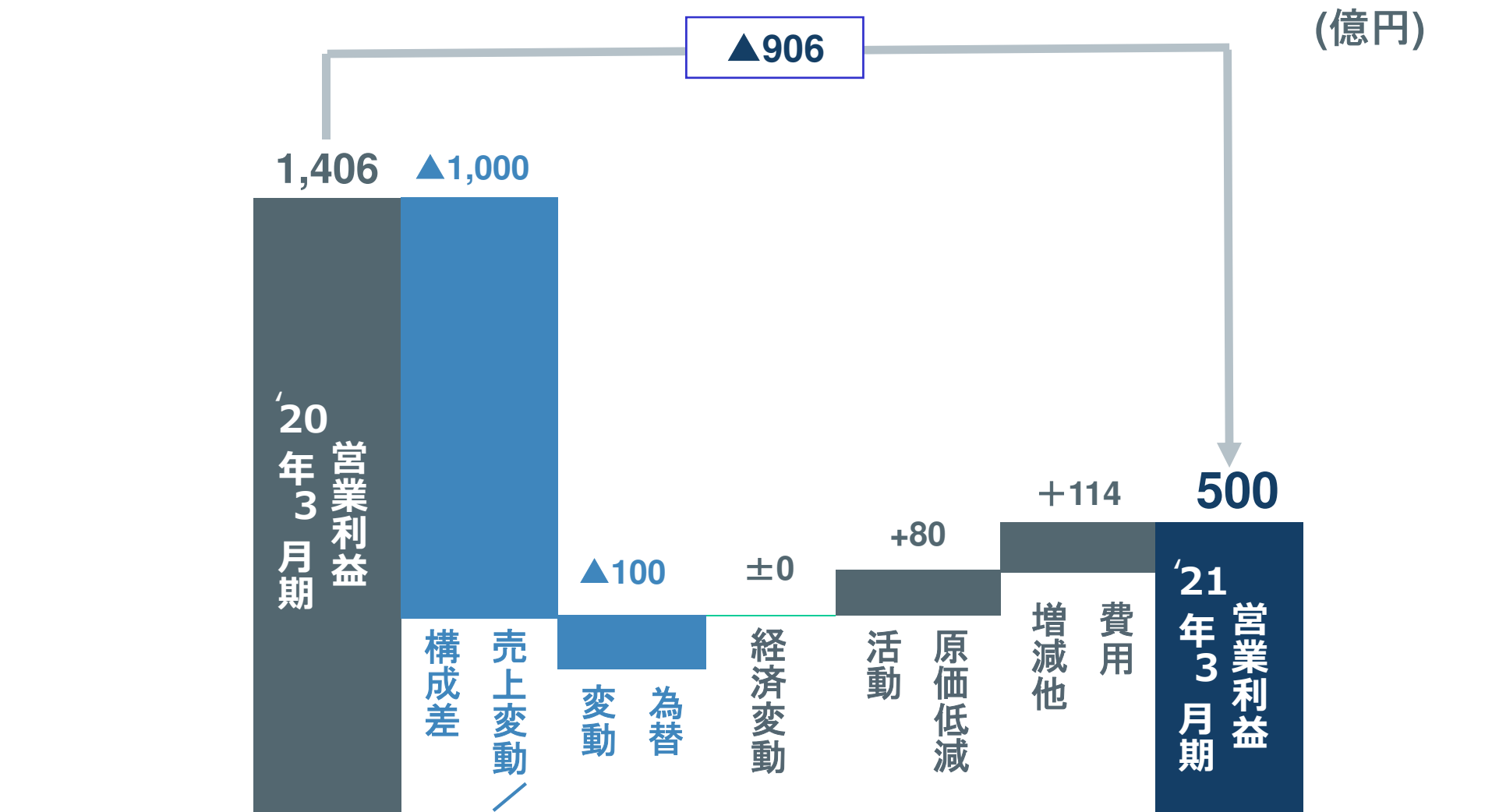
為替前提

*親会社株主に帰属する当期純利益

USD/JPY	108円	109円
THB/JPY	3.30円	3.51円
AUD/JPY	68円	74円

'21年3月期営業利益見通し 増減分析 -前年同期比- ISUZU

- VOL減少の影響が大きく、費用削減の対策実施も前期比▲906億円減益の500億円



5. 協業について

2019年12月18日Volvo社との覚書締結

- 商業車分野での協業検討開始
 - ① 先進技術協力
 - ② 日本・アジアの大型トラック
 - ③ 中・小型トラック協業
- UDトラックをいすゞの連結子会社化（2020年末までに）
- 目指す方向
 - ・ 来るべき物流革命に対し、両社で協力しお客様や社会に対して最大の価値を提供する
 - ・ いすゞ・UDTは両社で日本・アジア地域での突出したNo.1を目指す

協議中の提携関係

- 技術提携契約
- UDトラック子会社化
- 欧州・北米での協業検討開始

期待される効果

- 商品開発分野での協業
 - UDトラック商品のVolvo技術活用継続
 - Volvo-いすゞ間で先進技術投資の分担
 - 大型車(日本・アジア向け)の商品開発を効率化
- Volvoとのコンポーネント・部品共通化によるコスト削減

今後の予定

- 今年年央には契約締結を目標としているが、新型コロナウイルスの影響により遅れが生じる可能性有り
- 新型コロナウイルスの影響がはっきりとした時点で再度ご報告申し上げたい

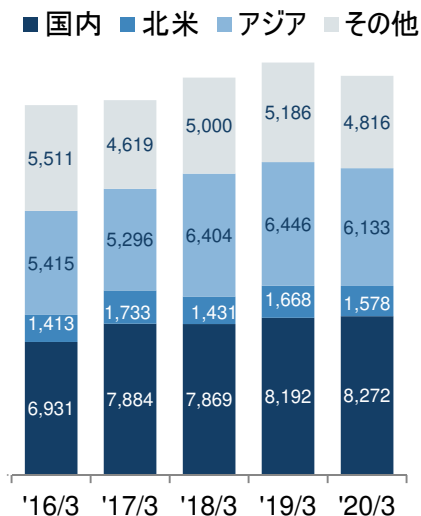
「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

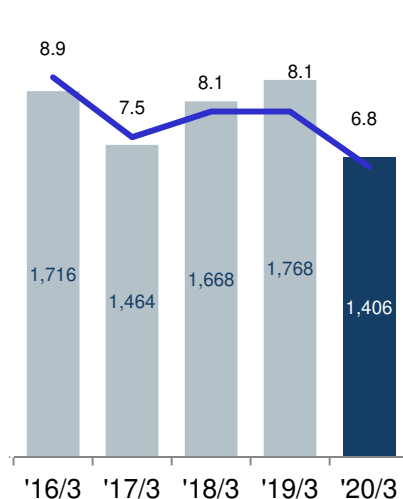
【付表】主要事業指標推移等



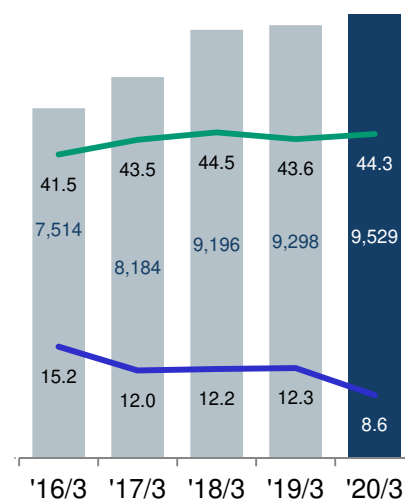
地域別売上高(億円)



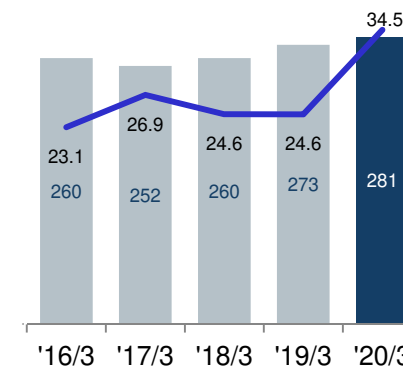
営業利益(億円/%)



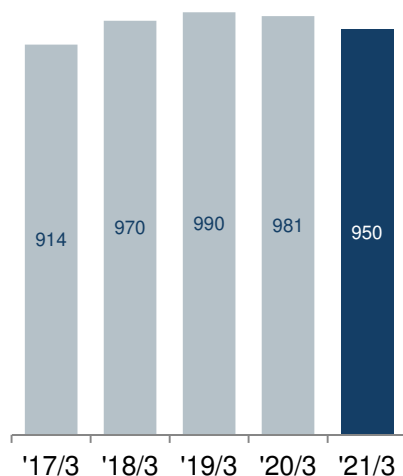
自己資本/ROE(億円/%)



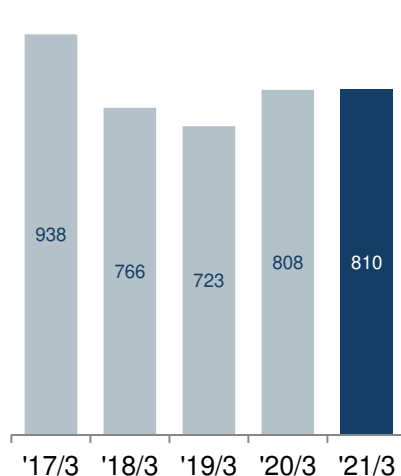
配当(億円/%)



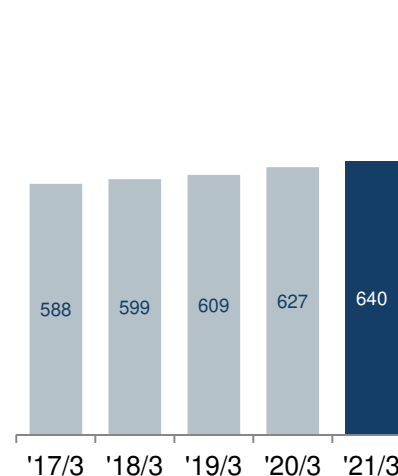
研究開発費(億円)



設備投資(億円)



減価償却費(億円)



国内生産(千台)

